

TBK グループサステナビリティ調達ガイドライン

2025 年 10 月策定
株式会社 TBK

目次

1. はじめに
2. 基本姿勢
3. 適用範囲
4. 遵守いただきたい事項（ガイドライン本編）

1. 人権

背景・重要性

- 差別・ハラスメントの禁止
- 人権の尊重

2. 労働

背景・重要性

- 強制労働・児童労働の禁止
- 適正な労働条件
- 結社の自由尊重

3. 安全衛生

背景・重要性

- 安全な職場環境
- 労働災害の防止
- 健康管理の推進

4. 環境

背景・重要性

- 環境法令の順守
- 環境負荷低減への取り組み
- 有害物質管理

5. 品質

背景・重要性

- 高い品質の確保
- 品質マネジメント

6. 情報管理

背景・重要性

- 機密情報の保護
- 個人情報の適切な取扱い
- 知的財産の尊重

7. 法令遵守と企業倫理

背景・重要性

- 法令・規則の遵守
- 高い倫理観の保持
- 反社会的勢力の排除

8. 公正な取引

背景・重要性

- 贈収賄の防止

- ・公正な競争の遵守
- ・公平・透明な関係

9. 社会貢献

背景・重要性

- ・地域社会との共生
- ・ステークホルダーとの対話

10. 管理体制の整備

背景・重要性

- ・体制構築と継続的改善
- ・教育・啓発の徹底
- ・サプライチェーン全体への展開

5. 承認および署名

1. はじめに

当社グループは、「お客様に喜んで頂く商品をつくり、社会に貢献する。」という経営理念のもと、重要保安部品であるブレーキおよびエンジン冷却・潤滑の機能部品であるポンプ等を安定供給することで物流の安心・安全を支えています。また、長年培ってきた鋳造・加工技術を活用したモノづくりをはじめ、新時代に向けた電動化ソリューション開発にも力を注ぎ、循環型社会に貢献する企業を目指しています。

その事業活動において、サプライチェーン全体での法令遵守、人権尊重、環境保全、公正な取引などの社会的責任を重要な課題と位置づけ、「購買方針」に基づき以下の方針を制定しました。

2. 基本姿勢

当社グループは、サプライチェーン全体において法令遵守や人権尊重、環境保全、公正な取引などを重視し、持続可能な社会の実現に貢献する調達活動の推進に努めます。

お取引先様とともに高い倫理基準を共有し、ステークホルダーとの信頼関係の構築と企業価値の向上を目指します。

3. 適用範囲

本方針は、当社グループの全ての事業活動に適用されます。また、当社グループと取引関係にある全てのお取引先様（資材・部品のサプライヤー、委託先を含む）に本方針への賛同と遵守を期待しています。当社グループの役員・従業員はもちろんのこと、サプライチェーンに属するパートナー企業の皆様にも、本方針に沿った行動を取っていただくようお願いいたします。さらに、お取引先様がさらにその先の供給元に対しても、本方針の趣旨に則った取り組みを促進していただくことで、サプライチェーン全体で持続可能性を高めていきたいと考えています。

4. 遵守いただきたい事項

当社グループは持続可能な社会の実現に向け、以下の項目についてお取引先様にご理解・ご協力のうえ、取り組んでいただくことをお願い申し上げます。

1. 人権

背景・重要性

人権の尊重は、どの企業にとっても欠かせない責任です。働く人が安心して働く環境を整えることは、企業の信頼や長期的な発展につながります。国籍や性別、年齢、障がいの有無、性的指向などによる差別やハラスメントをなくすことは、誰もが尊重される職場づくりの第一歩です。TBK グループでは、国際的な人権基準を重視し、お取引先様とも協力して人権を守る取り組みを進めています。

- 差別・ハラスメントの禁止

人種、民族、性別、年齢、宗教、障害、性的指向 (LGBTQ+ など) に基づく差別やハラスメントを行わないこと。

- 人権の尊重

「TBK グループ 人権方針」に基づき、国際的に認められた人権を尊重し、事業活動において人権侵害につながる行為を行わないこと。

2. 労働

背景・重要性

安全で健全な労働環境は、全ての従業員が安心して働き、力を発揮できるための土台です。長時間労働や不当な労働条件は、生産性や企業の評判に悪影響を与えるだけでなく、法令違反として大きなリスクにもなります。児童労働や強制労働をなくし、適正な賃金の支払いと働き方の改善を進めることは、サステナブルなサプライチェーンづくりに不可欠です。TBK グループは、従業員一人ひとりが大切にされる職場づくりを、お取引先様とともに目指します。

- 強制労働・児童労働の禁止

いかなる形態の強制労働、奴隸労働、人身取引を行わないこと。また、法令で定められた最低就労年齢に満たない児童を労働に従事させないこと。

- 適正な労働条件

労働関連法令を遵守し、適切な労働時間管理と公正な賃金支払いを行うこと。従業員に過度の負担をかけず、休暇・休憩を含む適正な労働条件を確保すること。

- 結社の自由尊重

従業員の団結権や団体交渉権など、結社の自由を尊重し、労使間で誠実な対話をを行うこと。

3. 安全衛生

背景・重要性

従業員の命と健康を守ることは、全ての企業の基本的な責任です。職場の安全対策が不十分であれば、事故やケガが発生し、業務への影響や信頼の損失につながります。安全教育の徹底や機械設備の整備、定期的な点検などを行うことで、安心して働く環境を整えることができます。また、心の健康への配慮も重要です。TBK グループは、お取引先様とも連携し、安全で快適な職場づくりを推進していきます。

- 安全な職場環境

労働安全衛生に関する法令・規則を遵守し、従業員にとって安全で清潔な職場環境を確保すること。機械設備の安全措置や職場の整頓など、労働災害の未然防止に努めること。

- 労働災害の防止

労働災害や事故を防止するため、適切な防護具の支給や安全教育・訓練を実施すること。危険源の特定・評価を行い、必要な是正措置を講じること。

- 健康管理の推進

従業員の健康維持・増進のための体制を整備し、定期健康診断の実施やメンタルヘルスへの配慮など、労働者の健康管理に積極的に取り組むこと。

4. 環境

背景・重要性

地球環境への配慮は、全ての企業が果たすべき大切な責任です。気候変動や資源の枯渇など、私たちの暮らしや未来に大きく関わる問題に対して、企業の行動が強く求められています。CO₂排出の削減や廃棄物の適正な処理、化学物質の管理、生物多様性への配慮など、一つ一つの取り組みが持続可能な社会の実現につながります。TBK グループでは、製品のライフサイクル全体で環境への影響を減らす努力をしており、お取引先様にも一緒に取り組んでいただくことをお願いしています。なお、本方針は先般より掲げています「グリーン調達ガイドライン」の内容を包含しているため、本ガイドラインの公開に合わせて「グリーン調達ガイドライン」は廃止します。

- 環境法令の順守

環境に関する法律・条例・規制を遵守すること。排水・排気、化学物質の管理など、法令で定められた環境基準を満たすこと。

- ISO 14001 環境マネジメントシステムの取り組み強化

取引先と協力し環境負荷低減と法令順守を推進すること。ISO 14001 に沿う環境マネジメントシステムの構築・継続改善と認証取得を進めること。

- 環境負荷低減への取り組み

気候変動への対応を含め、事業活動に伴う環境負荷の低減に積極的に取り組むこと。省エネルギー・温室効果ガス排出削減、廃棄物の削減・適正処理、リサイクル促進などの環境保全活動を推進すること。水資源については、節水や排水の適正処理を行い、水質汚濁の防止に努めること。さらに、事業所周辺の自然環境や生態系への配慮を行い、生物多様性の保護に取り組むこと。

- 有害物質管理

製品や生産工程において有害物質を適切に管理・削減すること。含有禁止物質や制限物質の基準を遵守し、安全な代替材料の使用に努めること。

5. 品質

背景・重要性

製品の品質は、安全性や信頼性に直結し、お客様の満足や企業の信用を左右します。特に自動車部品のように高い精度や信頼性が求められる分野では、不良や不具合の発生は大きな事故や損失につながる可能性があります。安定した品質を確保するには、日々の管理体制や継続的な改善が欠かせません。TBK グループは、お取引先様にも品質マネジメントの体制づくりと改善活動への参加をお願いし、ともに品質向上を目指してまいります。

- 高い品質の確保

製品およびサービスの品質確保に万全を期し、関連する法令・規格を遵守すること。製品安全に関する基準やお客様の要求仕様を満たし、安定した品質の製品を提供すること。

- 品質マネジメント

品質マネジメントシステム（例：ISO 9001 等）を構築・維持し、継続的な品質改善に取り組むこと。品質目標を設定し、定期的にモニタリング・見直しを行うこと。

6. 情報管理

背景・重要性

お取引先様との信頼関係を守るうえで、情報の適切な管理は非常に重要です。近年はサイバー攻撃や情報漏えいのリスクが高まっており、一度の事故で大きな信用を失う可能性もあります。営業・技術情報の漏えい防止や、個人情報・知的財産の適切な取扱いは、全ての企業に求められています。TBK グループでは、社内だけでなくお取引先様とも連携し、安心・安全な情報管理体制の構築を推進しています。

- 機密情報の保護

当社グループとの取引を通じて知り得た営業上・技術上の機密情報を適切に管理し、許可なく第三者へ開示・漏えいしないこと。情報セキュリティ対策を講じ、社内外への不正な情報流出を防止すること。

- 個人情報の適切な取扱い

個人情報保護法など関連法令を遵守し、顧客・取引先・従業員などの個人データを適切に取り扱うこと。利用目的を明確にし、必要な範囲で収集・利用・保存し、厳重に保管すること。

- 知的財産の尊重

自社および第三者の知的財産を尊重し、無断での使用や侵害を行わないこと。他社の特許権・商標権・著作権・営業秘密などを侵害しないよう十分注意するとともに、自社の知的財産も適切に管理・保護すること。

7. 法令遵守と企業倫理

背景・重要性

法律を守り、公正に行動することは、全ての企業が守るべき最低限のルールです。近年は国内外でコンプライアンスに対する社会の目が厳しくなっており、違反行為が発覚すれば、企業の信頼や取引機会を一気に失うこともあります。法令や社会規範を正しく理解し、倫理的な行動を取ることが企業の持続的な発展に直結します。TBK グループは、高い倫理観を持って誠実な企業活動を行っており、お取引先様にも同様の姿勢をお願いしています。

- 法令・規則の遵守

事業活動を行う各国・各地域において適用される全ての法令・規則を遵守すること。輸出入管理、労働法、環境法、製品安全法等の関連法規について社内体制を整備し、違反の防止に努めること。

- 高い倫理観の保持

社会規範や企業倫理を遵守し、高い倫理観を持って行動すること。不正行為や虚偽報告を行わず、誠実かつ公正な企業活動を実践すること。

- 反社会的勢力の排除

反社会的勢力やテロ等の脅威となる勢力とは一切関係を持たないこと。不当要求があった場合には毅然とした態度で対応し、直ちに所管当局へ通報すること。

8. 公正な取引

背景・重要性

公正な取引は、長く良好なビジネス関係を築くための土台です。贈収賄や不当な優遇、談合などの不正行為は、企業の社会的信用を大きく損なう原因になります。全ての取引において透明性を持ち、対等な立場で信頼ある関係を築くことが大切です。TBK グループは、全てのお取引先様に対して公平な機会を提供し、公正な評価のもとで調達を行っています。同じ価値観を共有しながら、お互いに信頼できるパートナーであり続けたいと考えています。

- 贈収賄の防止

贈答・接待・金銭の授受などによる不適切な利益供与や収受を行わないこと。公務員や取引先に対する賄賂は厳禁とし、自社の贈収賄防止ポリシーを遵守すること。

- 下請法の順守・インサイダー取引の禁止

顧客や取引先との間で下請法を厳格に順守し、非公表の重要な情報の不正利用を含むインサイダー取引を一切行わないこと。公正・透明な取引と適正な情報管理を徹底し、健全なパートナー関係を築くこと。

- 公正な競争の遵守

独占禁止法や競争法を遵守し、カルテルや入札談合など市場の公正な競争を阻害する行為を行わないこと。他社との協調による価格固定や市場分割等の不当な取引制限を禁止すること。

9. 社会貢献

背景・重要性

企業は、利益を追求するだけでなく、地域社会にも貢献する存在であることが求められています。地域との良好な関係を築き、社会の期待に応える取り組みを進めることができます。企業のイメージ向上や社員の誇りにもつながります。TBK グループは、「企業市民」として地域や社会との共生を大切にしています。お取引先様にも、それぞれの立場で社会貢献活動に前向きに取り組んでいただくことを期待しています。

- 地域社会との共生

事業活動において地域社会の法令・規範・文化を尊重し、地域との良好な関係を維持すること。周辺地域の生活環境や安全に配慮し、企業市民としての責任を果たすこと。

- ステークホルダーとの対話

社会や利害関係者（ステークホルダー）からの期待・要請に誠実に対応すること。事業に関する適切な情報開示やコミュニケーションを通じて信頼関係を構築し、企業活動の透明性を高めること。

10. 管理体制の整備

背景・重要性

サステナビリティへの取り組みを形だけで終わらせないためには、社内での管理体制を整え、実行と改善を繰り返すことが必要です。経営層の関与や社員教育、リスクの把握と是正などを継続的に行うことでの方針が現場に根づき、実効性のある取り組みになります。TBK グループでは、お取引先様にもサステナブルな調達活動を社内に広げていただき、パートナーとしてともに改善を進めていくことを願っています。

- 体制構築と継続的改善

上記の各項目を実行するための社内管理体制（マネジメントシステム）を構築・維持すること。定期的に自己評価や監査を行い、問題点を把握して継続的な改善に努めること。

- 教育・啓発の徹底

従業員に対して本方針に関する十分な教育・啓発を実施し、社内への周知徹底を図ること。従業員が法令遵守やサステナビリティの重要性を理解し実践できるよう適切に指導すること。

- サプライチェーン全体への展開

本方針の趣旨を自社の取引先にも共有し、その内容の理解を求めるここと。

本方針は、取締役会の直轄機関であるサステナビリティ委員会での承認を得ております。

2025年10月17日

株式会社 TBK

取締役 常務執行役員 小林正登